

I「私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています」Ⅱコリント4：16。私達の外なる人=肉体は、衰える、老化して行く。しかし、内なる人=主を信じ、御聖霊のみわざにより新生した心、魂、霊は、日々、御聖霊により、新しくされ、主イエスの品性に変えられ続けています。「私たちはみな、…主の栄光（御性質）を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたち（御性質）に姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです」Ⅱコリント3：18。私達は、自分の力で自分を主の品性に変える事は出来ない。それが出来るのは、御聖霊とみことばの偉大な力である。この新年にこの希望の御言葉をいただきたい。私達は、この地上に生かされている時には、三位一体の神に支えられ、主のご性質に変えられ、この地上で死を迎える時、天国に召され、罪、悪い心の無い、聖く愛の人に変えられ、イエス様に迎えられ、永遠の愛で神に愛される。世の終わりの主の再臨の時には、栄光の体までいただける。何という恵み！

Ⅱ「これは、主が設けられた日である。この日を楽しみ喜ぼう」詩篇118：24。この新しい年の一日一日は、偶然や神と関係なく訪れるのものではない。毎日毎日が、神によって大切に造られている。この自覚を持つ時、私達のこの日、今日という日の受け止め方、過ごし方が変えられる。「これは、主が設けられた日である」→だから「この日を楽しみ喜ぼう」。神が、この日を造られ私達に与えて下さった大切な日！それゆえ、この日を主がご計画を持って造り、与えられた日として楽しみ喜ぼう。素晴らしい主が共にいて下さるこの日！だから、この日を楽しみ喜ぼう！あるクリスチャンの著者から教えられた恵み＝「私達は毎日を、毎時間を、いや毎分を、神が造られた新しい始まりとして、また、すべての事が新しくなるまたとない機会として生きる術を学ぶべきです。想像して下さい。過ぎ行く一刻一刻を、新しい命の秘められた時として生きる事ができたら、一日一日を素晴らしい約束に満ちた日として生きる事が出来たら、新しい年を迎えて、『あなたのための贈り物を早くあなたに見せたくて待ちきれません』という御声を絶えず聴きながら、この一年を過ごす事が出来たら、どんなに素晴らしいことでしょう」。「立ち返って静かにすれば、あなたがたは救われ、落ち着いて、信頼すれば、あなたがたは力を得る。…主はあなたがたに恵もうと待っておられ、あなたがたをあわれもうと立ち上がられる。主は正義の神であるからだ。幸いなことよ。主を待ち望むすべての者は」イザヤ30：15、18。

「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである」Ⅰコリント2：9

「私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施す方に、教会により、またキリスト・イエスにより、栄光が、世々にわたって、とこしえまでありますように。アーメン」エペソ20、21。神は私達に豊かな恵みを与えたいと願っておられる。

「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野（試練の人生）に道（希望の道、神に近づける道）を、荒地（乾く心）に川（私達の乾く心を潤す生ける水の川）を設ける」イザヤ43：19

「わたしはあなたがたのために立てている計画を良く知っているからだ。一主の御告げ—それはわざわざいではなくて、平安（悩みの中でも味わえる神からの平安）を与える計画であり、あなたがたに将来と希望（失望、絶望しそうな時にも神が共におられ支えて下さる希望）を与えるためのものだ」

エレミヤ29：11

Ⅲ あわてず、あせらず、あきらめないで、忍耐をいただいて祈り続けましょう。

「熱心だけで知識のないのはよくない。急ぎ足の者はつまずく」箴言19：2

「主が来られるまでは、先走ったさばきをしてはいけません」Iコリント4：5

今年も、色々な事が起こる事でしょう。色々な事が自分に起こって来る度に、神のみもとに、それを持って行く事を学ばなければならない。神よりも先走ろうとしてはならない。あわて、あせり、神の先を越してはならない。神から目を離し、神抜きで、自分だけで将来を先走って考え込んではいけません。一日一日を神と共に生きよう。来る日毎に、神にお従いする歩みをしよう。神が、その日その日にするように命じられる事を判断して歩めるように祈りたい。今年、一日一日、一つ一つの問題に、神に祈りつつ対処する事を学べますように。神の先を走るのではなく、神と歩調を合わせ、神と共に歩めますように。その為には、毎日、神の御言葉を読み味わい、神との交わりが欠かせない。また毎週の主日、安息日の礼拝を大切に、神を賛美し、礼拝メッセージで神の御心を知り続けたい。主を間に置いた御言葉（デボーションの御言葉や説教の御言葉、通読の御言葉）の分かち合い、祈り合いを！マスクを着用も！

Ⅳ 試練の中での励ましの御言葉

「あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道（すぐに逃げる道ではなく、神の時に神の方法で解決する道、神が一步一步導いて下さる道）も備えてくださいます」Iコリント10：13。究極の脱出の道とは、全能の主が共にいて下さる道、主が支えて下さる道。試練だけが与えられる事はない。試練と共に主の恵み、主の励まし、主の慰めがあり、試練と共に最高の、素晴らしい「道そのものである」主と共におられる。

Ⅴ 力強い御言葉

「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わたしの義（勝利、救いとも訳せる）の右（権威、威力※イエスは「十字架を忍び神の御座の右（権威ある座）に着座されました」ヘブル12：2）の手で、あなたを守る」

イザヤ41：10

Ⅵ 苦しみ、試練をも益として下さる神

「神を愛する人々、すなわち、神の御計画に従って召された人々のためには、神がすべてのこと（苦しみや試練や失敗や後悔を含む）を働かせて益（霊的な目が覚められる、悔い改め、神に立ち返る、へりくだり、神に近づく、神を深く知る、神の聖さ、主の品性に自分自身が変えられる、人への深い思いやり、人に寄り添う人に変えられる）としてくださることを、私たちは知っています」ローマ8：28

Ⅶ 悩みから主に心向けさせる御言葉。「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをもともせず十字架（私達の罪の為の）を忍び、神の御座の右に着座されました」ヘブル12：2。今、あなたの心の目は、何に捕われていますか。今、悩みを主に委ねて、すべてを最善にして下さる主イエスに心の目を注ぎましょう。主は、今も、私達に優しく語り掛けて下さいます。「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます（あなたの重荷を主が負って下さり、あなたの心の傷を癒し、あなたの罪も赦して下さい）」マタイ11：28。今年も、色々な辛い事があるでしょう。その時、この説教のプリントを読み返して下さい。心に記された御言葉があなたを慰め励まして下さいますように。これからも、皆さんお一人お一人に、三位一体の神の恵みと愛と交わりと守りと心の傷の癒しがありますように！